

# 「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」 平成 25 年度第 1 回推進会議の概要について

「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」の平成 25 年度第 1 回推進会議を、平成 25 年 6 月 17 日（月）に開催しました。

第 1 回推進会議には、7 名の委員のうち 5 名の方々にご出席いただくとともに、会議の進行を補助するファシリテーターとして国立大学法人三重大学教育学部教授の山田 康彦氏にご出席いただきました。

なお、第 1 回推進会議の概要は、以下のとおりです。

## 「未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト」委員及びファシリテーター

※敬称略、50 音順、カッコ書は役職

石川 正浩（サポーターいっちゅう 事務局次長兼広報部長）

太田 浩司（三重県 P T A 連合会 顧問）

田尾 友児（三重県立紀南高等学校 学校運営協議会 委員）

竹内 勇夫（伊勢市立小俣中学校 校長）

西岡 慶子（株式会社光機械製作所 代表取締役社長）

※西岡委員はご欠席

宮路 正弘（三重県立飯野高等学校 校長）

山田 忍（スクールカウンセラー）

※山田委員はご欠席

ファシリテーター

山田 康彦（国立大学法人三重大学 教育学部教授）

## ＜推進会議の進行概要＞

会議の大まかな進行は以下のとおり

開会 14：30

- ・教育長あいさつ
- ・自己紹介
- ・事務局による資料の概要説明  
「協創プロジェクト推進会議の進め方」  
「平成 24 年度の各実践取組の評価」  
「平成 25 年度の取組概要」

プロジェクト推進についての意見交換

- ・本年度の展開等について意見交換を実施

次回（第 2 回）の開催予定

閉会 16：30

（山口教育長あいさつ、県事業の説明）

冒頭、山口教育長から委員の皆さんに本日の会議の開催趣旨について説明しました。

また、各委員の自己紹介をしていただきました。



その後、事務局より資料に基づき、「新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議の進め方」、「平成 24 年度における各実践取組の評価」及び「平成 25 年度の取組概要」について説明しました。

※プロジェクトで挑戦する 4 つの実践取組

- ①「県民総参加による学力の向上」

- 「地域に開かれた学校づくり」
- 「教職員の授業力向上」
- 「安心して学べる環境づくり」

### （プロジェクト推進についての意見交換）

続いて、山田教授の司会によりプロジェクトの推進に向けた意見交換を行いました。

各委員からは、日頃の活動を通じて感じる課題や子どもの学力向上に向けた本年度の展開等について、意見や提案をいただきました。

#### 委員からの主な意見

学力向上のために様々な施策を展開していくこととしているが、実践推進校の教員に授業研究担当者育成研修を受講させるなど、施策を構造的に組み合わせる相乗効果を発揮できるようにしてはどうか。

学校と地域の連携を進めている中で、地域住民からの要望に学校側が対応できないことが多い。要望に応えていくことで連携が進んでいくことも考えられるので、継続的に対応できる体制を構築することが必要である。



「サポーターいっちゅう」で実施する取組については、なるべく補助金に頼らず運営していきたいと考えており、自販機の設置により収益を確保するなど、補助金が終了しても継続していけるよう、努力しているところである。

地域との連携には学校にキーマンとなる教師が必要。「サポーターいっちゅう」も、は

じめは先生方から反対されていたが、キーマンとなる教師がいたからこそ取組を拡げるとともに、続けていくことができた。家族のあるべき姿についてはPTAだからこそ発信できていると考えているので、今年度三重県で開催するPTAの全国大会においても、「家族」をどう考えるのかということについて情報発信していきたい。

少人数教育も大切だが、少人数のクラスであっても学力に幅があると対応に苦慮する。学力向上のためには、指導方法を工夫した習熟度別で授業が行えるようにすることも効果があると思う。

学校が落ち着いていて教師にも余裕があれば、教科書の内容をきちんと教えることができるので、学校が落ち着いているかどうかは学力向上のポイントとなる。そのためには人的な余裕が必要となるため、教員の数を増やすことも必要である。

学力向上の取組については、昨年度の議論を踏まえてメニューが出揃い、今年度から実施しているが、次回の会議では事業の進捗状況の中間報告をしていただくとともに、各学校で行われている先進的な取組を共有できるようにしてもらいたい。

など



### 次回（第2回）の開催予定

平成25年度は3回の開催予定。

次回（第2回）推進会議は、本年度の進捗状況の確認及び翌年度にむけた取組方向について意見交換を行うため、9月中下旬に公開で行う予定です。